

Ⅱ 葬儀、墓、追善、他界観

伝統的な葬儀（土葬）	現代の一般的なもの（火葬、仏式）
<p>1. 死の確認-通夜（蘇生） 末期の水・魂よび・2人の使い 枕飯・枕団子、布団に刀 葬式組（葬具作り、穴堀、賄） 通夜、添い寝（合体）</p> <p>2. 葬儀、葬列（移行） 湯灌、死出の旅の支度（遍路姿）、納棺、 葬儀；読経、戒名、引導、焼香、 出棺；茶碗をわる、仮門、別道、 葬列；位牌（後継者）、仏供（妻）、他</p> <p>3. 墓葬霊（分離） 墓穴に棺を入れる。近親者が土をかける。 はじき石、息つき竹、枕石、喪屋</p> <p>両墓制 葬地—埋め墓 祭地—詣り墓 寺の近く 仏壇（日常）</p>	<p>1. 病院死（死亡診断書） 洗淨-霊安室-（葬儀社） 直葬（棺に納めて火葬場） 通夜（葬儀場）；読経、焼香、もてなし 祭壇（仏・浄土を示す、白木・生花） 最上段；飾輿、六灯（行灯）、竜頭（旗竿） 下段；写真、位牌、棺桶</p> <p>2. 葬儀；読経、戒名、引導、弔辞、弔電、焼 香 告別式；読経、焼香、挨拶 出棺；行列、霊柩車で火葬場</p> <p>3. 火葬；骨拾い 葬儀場でのふるまい 遺族で初七日法要</p> <p>4. 本葬；祭壇（故人の業績、団体のPR） 偲ぶ会；故人の業績を称え継承を誓う</p> <p>家墓；戦死者、何家墓、無縁墓（佐渡） 伊勢神宮—氏神 靖国神社—護国神社—忠魂碑</p>

◆ 伝統的な供養と他界観

追善供養；初七日（不動）、2・7日、3・7日、4・7日、5・7日、6・7日、

7・7日=49日=中陰、100ヶ日、1・3・7・13・33回忌（虚空蔵）、50年（神道）、弔いあげ

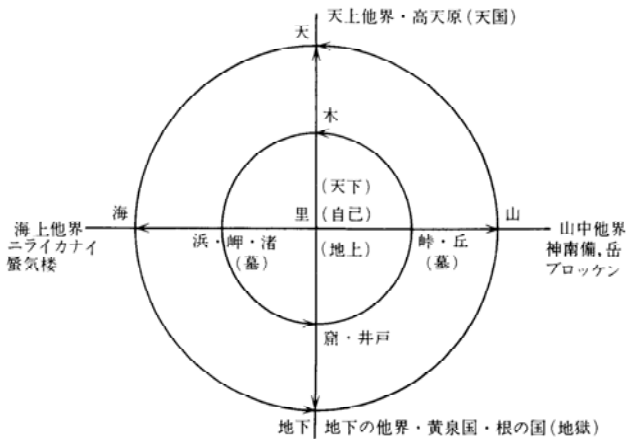
先祖祭；盆、正月、春秋の彼岸（初盆までは新精霊）

これらの営みによって、死霊-祖霊-祖神-氏神

他界観；山、海（島）



- 再生 ; 1. 氏神から魂が分化して再生
2. いまわのきわの願い、怨みを持ってよみがえる幽霊、七生
3. 蘇生—タマヤ、モヤ、蘇りを待つ



第2図 世界空間的位置

仏式	神式	キリスト教式
葬儀 一同着席 僧侶入場 読経 作法	葬儀 一同着席 神官入場 祓 祝詞	告別式 奏楽 讃美歌 (一同) 祈祷 (牧師) 讃美歌 (一同) 故人略歴 式辞 (牧師) 弔辞・弔電
弔辞・弔電 読経・焼香	弔辞・弔電 玉串奉奠 神官退場	煩栄 (一同) 祈祷 (牧師) 遺族代表挨拶 献花 (各人) 出棺
告別式 各人焼香 遺族代表挨拶 出棺	告別式 各人玉串奉奠 遺族代表挨拶 出棺	

第2表 葬儀次第第一覧

Ⅲ 死を見つめて今を生きる

1. 宗教研究者の場合

岸本英夫 (別かれ、宇宙の霊)

桜井徳太郎 (逆修)

2. 看取りと医療

- ◆ ホスピス Hospice; H (hospitality)、O (organized care)、S (symptom control)、P (psychological support)、I (individual care)、C (communication)、E (education)。(柏木哲夫)

中世キリスト教の聖地巡礼の宿泊施設

1967 ロンドン郊外のセントクリストファーホスピス

1980 浜松 聖隷病院三方原病院ホスピス

2002 11月19日現在 108のホスピス

- ◆ ビハーラ Vihara ; 楽しみに散歩すること。遊歩

静かに自己を見つめ、また見守られる (如実知自身)

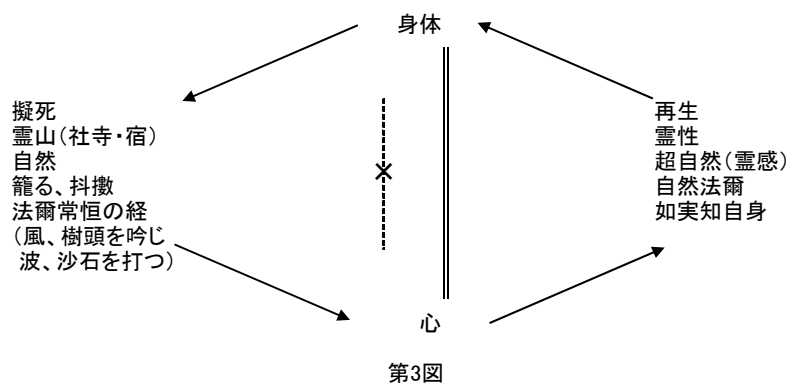
残された生命の尊さに気づかされた人が集まる共同体

藤井正雄「ターミナルケアと仏教」『QOLと仏教の生命観に関する総合研究』大正大学 2004年

3. 擬死と再生

祖霊の居所とされる霊山の修行→霊地の修行、巡礼

例：出羽三山、秋の峰、月山は祖霊の居所



IV 現代人の死生観

1. 2001年のニューヨーク貿易センタービルの自爆テロ V.S. 合理主義
2. 戦没者（靖国、故郷、浄土、再生）と遺族
3. 『死者と追悼をめぐる意識変化』（東北大学 鈴木岩弓他 2003年調査 2000人中1409人が回答）
 - i) 死後の靈魂の存在；753人（53.4%）が肯定
 - ii) 生者への影響；及ぼす798人（53.6%）
 - iii) 死後の靈魂の在所；墓206人（17.5%）、仏壇147人（12.5%）、寺など27人（2.3%）、死亡場所62人（5.3%）、山や海17人（1.5%）、天国・極楽325人（27.7%）、生者の心の中344人（29.3%）
 - iv) 葬儀；死者の意見を尊重1305人（93%）
 - v) 祖先祭祀は子孫の義務；肯定1236人（88.1%）
 - vi) 葬儀の意味；死後の世界に送る535人（38.5%）、死者とのお別れ509人（36.6%）、親しい人の死を受け入れる69人（5.0%）、死者を偲ぶ241人（17.3%）、お悔み37人（2.7%）
 - vii) 墓；ある1013人（72.4%）、仏壇；ある738人（52.9%）、神棚；ある656人（46.6%）
 合葬墓；肯定1179人（83.2%）、散骨；肯定1102人（78.7%）



V 「私」の死の設計

1. 現代の問題：自殺（人間関係、再生、自然回帰）、少子化、戦争未亡人、未婚の女性
2. 新しい葬法

例 1.

もやいの会

1990年発足。磯村英一。平等な仲間、自己の死を共有

A 会員：会報「舩」（隔月刊）購読、月1回例会、年2回合同慰霊祭

B 会員：碑に赤で名前と生年を刻字して、死ぬと赤を消して没年を刻み、遺骨を壺に入れて収める。

会員 2005年8月 3000人。1200人が納骨。

首都圏の女性が3分の2、70歳以上が多い。

「りす」システム Living Support Service System 1994年

アドバイザー（50人位、7割が60代女性）が家族の役割を引き受けて遺骨を届ける。

会員 1800人

「飛天の塚」

他に任せる人のいない家の先祖を納める。1500人

例 2. 葬送の自由を進める会 —散骨、会報「再生」

1991年 安田睦彦 海・山（大雪山・阿蘇）、再生の森（12ヶ所）

2005年8月 会員1万1千人 全国に13支部 1031回のべ1749人

海の散骨；20キロ沖、遺骨は細かくして水溶性の容器に入れる

散骨地点で；閉会の辞、散骨、献花、献酒、黙禱、霧笛、閉会の辞

セキセイ（名古屋市） 公営社（新宿）

中筋由紀子『死の文化の比較社会学—私の死の成立』梓出版社 2006

例 3. 樹木葬—雑木林を墓地

1999年 岩手県—関市祥雲寺 千坂峻嶮住職

2メートルの円で囲まれた土地の穴に直接遺骨を入れ、そこに山つつじ、あじさいなどの木を植える。

2003年1月申し込み 382（納骨91）



例 4. 宇宙葬

遺骨（7グラム）を専用カプセルに入れて申し込み、まとまるとロケットに搭載して宇宙に送り出す。
カプセルの表面にメッセージを刻む。
米国セレスティス社 日本総代理店セキセー
一緒に打ち上げた故人のプロフィール、メッセージを掲載した記念誌、打ち上げのビデオ、証明書。

例 5. 手元供養—骨仏、遺骨のダイヤモンド、ネックレス、ペンダント

井上浩代『墓と家族の変容』岩波書店 2003

結

葬式；主体が遺族から→死者の遺志（「私」の死の設計）

墓地；墓碑銘 家名→両家名・宗教語・任意語

家墓→総墓（仲間の合祀）

墓石→海・山、樹木（自然）、宇宙

世界観；家、先祖、氏神→個、自然、宇宙

あの世に送る→この世に思い出、仕事を残す（偲ぶ会）

家の継承→故人の仕事の継承（遺志を受け継ぐ）、団体葬

靈魂、祖靈、氏神→靈魂は残された人の心の中に、遺伝子

付

福澤先生の葬儀、「遺影」

以上